



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 不二ラテックス株式会社

コード番号 5199 URL <http://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 研二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員財務部長

(氏名) 畑山 幹男

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,231	4.3	503	603.1	511	950.1	357	926.6
27年3月期第3四半期	5,016	3.8	71	△79.4	48	△84.5	34	△80.8

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 391百万円 (651.9%) 27年3月期第3四半期 52百万円 (△73.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	28.12	—
27年3月期第3四半期	2.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,069	2,515	31.2
27年3月期	8,201	2,125	25.9

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 2,515百万円 27年3月期 2,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	4.3	505	180.2	460	176.8	320	—	25.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	12,861,992 株	27年3月期	12,861,992 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	154,906 株	27年3月期	147,612 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	12,710,303 株	27年3月期3Q	12,716,296 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境の改善や個人消費の伸びに支えられ緩やかな景気回復が継続し、欧州においても個人消費に牽引され緩やかな景気回復が続きました。中国をはじめとする新興諸国においては経済成長の鈍化がみられるなど、先行きの不透明な状況が続いております。国内経済は企業収益の改善傾向が続く雇用の回復がみられたものの、個人消費は足踏み状態が続くなど景気は緩やかな回復基調で推移しました。

経営成績については、中核事業のひとつである医療機器事業は、主力のコンドームを取巻く市場環境は依然厳しい状況が続いております。もう一つの主力分野である精密機器事業は、製造関連企業を中心に顧客ニーズに対応すべく積極的な製品開発と提案営業を推進してきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、52億3千1百万円と前年同四半期と比べ2億1千5百万円(4.3%)の増加となりました。

利益面につきましては、営業利益は5億3百万円と前年同四半期と比べ4億3千1百万円(603.1%)の増益となりました。経常利益は5億1千1百万円と前年同四半期と比べ4億6千2百万円(950.1%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3億5千7百万円と前年同四半期と比べ3億2千2百万円(926.6%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益又は営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力の国内コンドームは、継続的かつ中心的な戦略として位置づけている販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストア開拓をより重点的に推進すると同時に、販促企画に軸足を置いたネット販売の強化と海外オファーの積極的な取り込みを図りました。この結果、海外向け売上高は伸長したものの国内市場での価格の2極化、新素材製品の市場シェア拡大等により引き続き厳しい展開が続きました。一方、プローブカバー(感染予防製品)を中心としたメディカル製品については、市場の認知度も上がり引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は、14億9千8百万円と前年同四半期と比べ1億2千9百万円(9.5%)の増加となりました。

セグメント利益は、増収効果や生産合理化を継続的に進め原価低減に努めたことにより1千万円(前年同四半期は3億1千1百万円の損失)となりました。

② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは、景気回復に伴い国内市場、輸出とも引き続き堅調に推移しました。主要な市場として位置付け、開拓深耕を続けている住宅設備関連、自動車関連、家電、OA機器関連の分野では堅調に受注が確保できました。産業用の分野では国内外の設備投資が徐々に回復をしているものの大幅な受注増には及ばず苦戦しました。また、増設をした自動化ラインが効率生産とコスト低減に寄与しました。

この結果、売上高は、32億2千8百万円と前年同四半期と比べ5千8百万円(1.9%)の増加となりました。

セグメント利益は、7億2千2百万円と前年同四半期と比べ9千5百万円(15.2%)の増益となりました。

③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場のニーズ多様化と市場の縮小が続きましたが、広告販促活動・イベント等に持ち直しの傾向がみられ、ヘリウムガスの供給も徐々に安定化し業績は回復傾向となりました。

この結果、売上高は、3億8千万円と前年同四半期と比べ7百万円(2.1%)の増加となりました。

セグメント利益は、1千万円と前年同四半期と比べ6百万円(174.0%)の増益となりました。

④ その他

売上高は、1億2千4百万円と前年同四半期と比べ1千8百万円(17.8%)の増加となりました。

セグメント利益は、2千6百万円と前年同四半期と比べ1千6百万円(152.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、80億6千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億3千2百万円減少しました。総資産の主な減少要因は、現金及び預金の4千万円の減少などです。

負債総額は55億5千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億2千1百万円減少しました。負債総額の増減要因のうち主な増加要因は、未払法人税等の8千7百万円の増加などであり、主な減少要因は、支払手形及び買掛金の1億1千5百万円、短期借入金の2億7千6百万円、長期借入金の1億5千万円の減少などです。

純資産総額は25億1千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億8千9百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の3億5千7百万円の増加などによるものです。この結果、自己資本比率は31.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年5月15日公表の平成27年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,648,740	1,608,294
受取手形及び売掛金	1,949,136	1,924,330
電子記録債権	24,881	47,570
商品及び製品	317,995	279,733
仕掛品	550,702	578,705
原材料及び貯蔵品	571,197	605,392
その他	190,491	94,596
貸倒引当金	△533	△531
流動資産合計	5,252,610	5,138,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	690,459	676,250
土地	1,150,660	1,150,660
その他(純額)	476,993	556,528
有形固定資産合計	2,318,113	2,383,439
無形固定資産	165,223	135,142
投資その他の資産		
その他	461,855	415,893
貸倒引当金	△2,962	△8,164
投資その他の資産合計	458,893	407,729
固定資産合計	2,942,229	2,926,310
繰延資産	6,344	4,664
資産合計	8,201,184	8,069,068
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,242,183	1,126,892
短期借入金	2,308,000	2,032,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	1,436	88,695
賞与引当金	112,250	40,388
その他の引当金	-	5,697
その他	392,033	410,045
流動負債合計	4,275,903	3,923,718
固定負債		
社債	440,000	430,000
長期借入金	600,000	450,000
退職給付に係る負債	238,507	213,795
その他	521,088	536,541
固定負債合計	1,799,596	1,630,337
負債合計	6,075,500	5,554,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	928,442	1,285,834
自己株式	△30,775	△33,118
株主資本合計	1,789,129	2,144,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,528	86,368
土地再評価差額金	275,145	275,546
為替換算調整勘定	21,339	18,790
退職給付に係る調整累計額	△15,458	△9,872
その他の包括利益累計額合計	336,554	370,833
純資産合計	2,125,684	2,515,011
負債純資産合計	8,201,184	8,069,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	5,016,878	5,231,903
売上原価	3,968,679	3,784,118
売上総利益	1,048,199	1,447,785
販売費及び一般管理費	976,574	944,222
営業利益	71,624	503,562
営業外収益		
受取利息	319	514
受取配当金	4,755	5,857
有価証券売却益	-	37,558
受取賃貸料	7,835	1,133
その他	14,953	11,815
営業外収益合計	27,863	56,879
営業外費用		
支払利息	43,925	42,279
賃貸費用	3,333	425
その他	3,559	6,666
営業外費用合計	50,818	49,371
経常利益	48,670	511,070
特別利益		
固定資産売却益	70	-
特別利益合計	70	-
特別損失		
固定資産除却損	814	571
固定資産売却損	24	-
特別損失合計	838	571
税金等調整前四半期純利益	47,901	510,498
法人税、住民税及び事業税	26,386	85,650
法人税等調整額	△13,296	67,456
法人税等合計	13,089	153,107
四半期純利益	34,812	357,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,812	357,391

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	34,812	357,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,542	30,840
為替換算調整勘定	1,824	△2,549
退職給付に係る調整額	4,890	5,585
土地再評価差額金	2,023	401
その他の包括利益合計	17,280	34,278
四半期包括利益	52,092	391,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,092	391,670
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,369,175	3,169,905	372,253	4,911,335	105,543	5,016,878	—	5,016,878
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,369,175	3,169,905	372,253	4,911,335	105,543	5,016,878	—	5,016,878
セグメント利益 又は損失(△)	△311,085	626,590	3,866	319,371	10,636	330,007	△258,382	71,624

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△258,382千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,498,747	3,228,788	380,077	5,107,613	124,289	5,231,903	—	5,231,903
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,498,747	3,228,788	380,077	5,107,613	124,289	5,231,903	—	5,231,903
セグメント利益	10,153	722,106	10,592	742,851	26,875	769,727	△266,164	503,562

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△266,164千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。